

排水対策を徹底し、年内生育量を確保しましょう

根の活力向上と、年内生育量の確保のために、「排水溝の手直し」や「排水口への連結・掘り下げ」を行い、降雨による停滞水を早期に排出しましょう。

○目標茎数 播種1か月後:570本/m²程度 越冬前:600~800本/m²

1 播種作業

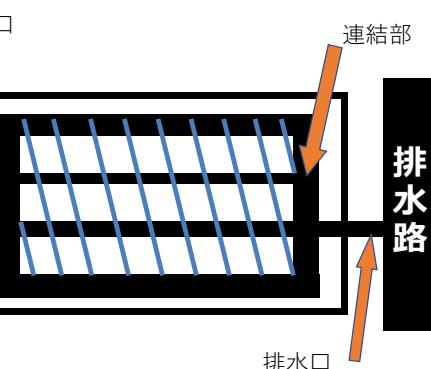
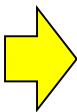
- ・目標茎数を確保するため、速やかに播種を行ってください。
(10月中旬の播種量目安 8.5kg/10a 程度)

2 排水対策

✓チェックポイント

- 水口が止められているか。
- 排水溝に水が溜まっていないか。
- 排水溝が崩れて埋まっていないか。
- 排水口を深く掘り下げ排水されているか。

【例】排水溝に水が溜まっている場合



排水口への連結・掘り下げ

溝の手直し・排水溝へ連結

3 雑草防除

- ・土壤処理除草剤の効果を高めるため、碎土率の向上に努める。
- ・雑草の種類や発生状況に応じ、効果の高い除草剤を的確に使用する。
- ・圃場内に発生したカラスノエンドウやハマダイコン等は速やかに除去する。

散布時期	除草剤名	適用雑草	10a当り散布量	散布方法
播種後～麦2葉期 ※	リベレーターG	1年生雑草 (カラスノエンドウ、カズノコグサ)	4～5kg	全面土壤散布
播種後～麦3葉期 ※	リベレーターフロアブル		60～80ml (水100Lに希釈)	雑草茎葉散布または、全面土壤散布
大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期) 収穫45日前まで	エコパートフロアブル	1年生広葉雑草	50～100ml (水100Lに希釈)	雑草茎葉散布または、全面土壤散布

※カラスノエンドウが多い場合、「リベレーターG」は播種2週間後、「リベレーターフロアブル」は播種3週間後に散布する。

【お問い合わせ先】

JAIいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478
JAいみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>